



# 三事研広報 No.6

H24.3.26 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子  
編集責任者 川北 剛

この1年は自然の大きさを痛感し、便利さと豊かさのバランスを考え直す機会を与えられたような1年であった気がします。会員の皆様におかれましてはどのような1年でしたでしょうか。厳しい寒さも和らぎ、1年で最も忙しい季節となりますが、体調管理にはくれぐれもお気をつけください。

さて、早いもので今年度の最終号となります今回は、各部のまとめの記事を掲載させていただきます。

最後になりますが、三事研広報を1年間温かく見守って頂きましてありがとうございました。今後とも三事研の活動にご協力を宜しくお願ひします。

## 研究部

本年度は、第6期中期研修計画の3年目であり、「協働について考える」を重点とし、つながりあう学校組織のための学校事務の機能について検証してきました。教育活動が活性化されるためには教職員同士だけでなく、学校間、教育委員会、地域・関係機関との協働体制の構築が不可欠です。そして、お互いが何を大切にしているかをよく理解したうえで、共有した同じ目標に向かってチームを組んで取り組んでいくことにより、その効果を相乗させることができると考えます。

また、「教育活動活性化計画」において、事務職員が果たすべき役割の方向性を示す「具体的行動指針」を提案しました。今後、指針に沿った実践を交流しあう中で検証を進め、三重県らしい「教育活動活性化計画」の策定に取り組んでいきたいと思ひます。

## 研修部

第6期中期研修計画3年目として、引き続き「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題に、今年度は「協働」の視点から研修講座を企画しました。

よりよい学校組織づくりをめざした講座を多く開催しました。実践発表では各支部それぞれの「協働」が紹介されました。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

そして、今年度の県大会は50周年記念大会でした。津支部からの新しい形の発表やシンポジストの方々の壮大なお話やじっくり考察された教育活動活性化計画の提案など、盛り沢山の内容の大会となりました。県内外から多く参加をいただいたことに感謝しております。

これまでにいただいたアンケートのご意見・ご指摘を十分検討させていただき来年度に引継ぎたいと思ひます。1年間本当にありがとうございました。

## 情報部

情報部では、研究活動の充実を図るため、各種の調査を実施しました。また、本部（役員会・委員会）と会員の連携をはかるため、「三事研広報」という広報誌を、発行計画に基づいて年6回、隔月に三重県公立小中学校事務研究会のホームページに掲載し、役員会・委員会の活動状況や三事研大会・研修講座の内容を中心に多くの情報を提供しました。

会員相互の連携と交流を図る目的で、「ひろば」という会員誌を年1回、10月に発刊しました。新規採用者の原稿については昨年度から三事研ホームページへの掲載も行っています。

さらに、ホームページ委員会、「事務の手引」編集委員会の運営も行っています。ホームページ委員会は、三重県公立小中学校事務研究会のホームページの管理・運営を行う組織であり、必要に応じてホームページ委員会を開催しました。「事務の手引」編集委員会は三重県公立小中学校事務研究会編集の「事務の手引」の充実・改善をはかりました。

最後になりましたが、2月の「三事研活動内容アンケート」では多くのご意見・ご感想等をありがとうございました。貴重なご意見を今後の活動に活かしていきたいと思ひます。1年間、情報部の活動にご協力頂きましてありがとうございました。

### 今年度末に退職される方へ

5月頃に、来年度の「ひろば」の原稿依頼を行う予定をしておりますので、4月からの連絡先（ご住所・電話番号がメールアドレス）を各支部の支部委員さんへお知らせください。